

春日市指定管理者導入施設の業務実績評価【対象年度:令和7年度】

1 基本情報

施設名	春日市ふれあい文化センター
指定管理者	トールツリーグループ
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
担当所管	文化スポーツ課文化担当

2 施設情報(休館など)

特定天井改修工事により貸し出し停止 ・サンホール(～令和7年7月) ・スプリングホール(令和7年7月～3月) 高圧ケーブル更新工事に伴う臨時休館 ・4/30、5/1、8/17

3 利用者数

指定期間	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比
利用者数 合計	164,078人	188,988人	186,661人	177,378人	
施設内訳					
新館	81,041人	92,352人	95,971人	79,054人	
旧館	83,037人	96,636人	90,690人	98,324人	

4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	・適正に実施されているか	・令和7年度施設維持管理業務実施一覧	○	
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か	・令和7年度施設維持管理業務実施一覧	△	・貸出用備品の管理について、故障備品の放置が発生した。 ・授乳室の備品が経年劣化により破損する事故が発生した。その後は定期的な設備の安全点検を実施することにより、再発防止に努めた。
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか	・令和7年度施設維持管理業務実施一覧 ・月例会議	◎	・図書館での迷惑行為発生時に、適切な対応を行うことで、利用者が安心して利用できる環境の確保に努めた。
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か	・令和7年度小規模修繕実績一覧	○	・経年劣化により、施設の不具合等が頻発しているが、適宜適切に対応している。
運営業務	運営状況	・公共性、公平性を確保しているか ・事業計画どおり実施しているか	・事業計画書 ・令和7年度指定事業・自主事業実施報告書 ・令和7年度ふれあい文化サークル通年講座月別受講者数・回数	◎	・文化事業における提案型事業については、市が定める基準以上の事業を実施し、年間を通して様々なジャンルの事業を行うことで、市民が多種多様な芸術文化に触れる機会を提供した。
	サービス水準の維持	・サービス水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	・令和7年度研修・訓練等実施報告書 ・サービス向上委員会議事録	◎	・職員全員が、人権研修、接客研修等を受講しており、利用者サービスの維持に努めている。 ・施設運営の各セッションの職員が集まり、職種を超えて意見交換を行う「サービス向上委員会」を行うことで、施設全体のサービス水準の向上に努めている。
	利用状況の把握	適切な施設の利用状況か	・令和7年度施設稼働率実績 ・令和7年度利用者数実績	○	・工事に伴うホール貸し出し中止の影響により、利用者数は減少したものの、稼働率では前年度を上回っており、適切な利用状況が維持されていた。
状況経理	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・令和7年度収支報告書 ・指定事業・自主事業収支内訳書	○	
運営体制	人員の適正な管理	・人員の適切な配置が無されているか ・継続的なレベルの維持に努めているか	・月別勤務実績(月次報告) ・人員の配置変更届	○	
	利用者の苦情・要望等の対応体制	・苦情等への対応は適切か	・利用者意見交換会議事録 ・利用者対応報告書	○	・利用者意見交換会を実施し、施設利用者と対面で意見交換を行っている。 ・要望に対しては、その対応可否を丁寧に説明した。対応可能なものは適切な対応を行っている。
	危機管理体制の確保	・事故、災害発生時の対応はできているか	・令和7年度研修・訓練等実施報告書 ・防災・危機管理マニュアル ・緊急連絡体制表	○	・全職員が年2回消防訓練に参加している。
	関係機関・地域との連携体制	・連携を図るための組織、体制を整えているか	・事業報告書	○	・市文化協会や市民図書館、星の館の他、ぶどうの庭や市商工会と連携した事業を行っている。
その他	行政と連携した対応	・行政の提案・要望に応じた管理運営ができていますか	・月例会議	◎	・施設予約システムの更新にあたっては、検証作業や、移行データの確認作業等市と協力して実施した。 ・行政の提案等を取り入れた文化事業の実施が見られた。 ・バスセンター移転に伴い、車椅子利用者の来館動線に変化が生じたが、警備員による誘導を行うことで、車椅子利用者の安全な来館環境の確保に寄与した。

5 加算項目への評価

評価内容	特記事項
(1)施設の利便性向上に関する取組 (2)地域連携への取組	・昨年度に引き続き、ケイミックスパブリックビジネス独自予算を活用し、洗浄機付便座の導入拡大を行う等利便性向上に努めた。 ・市民ニーズの高い「落語」公演を、公民館を活用したアウトリーチ公演として実施することで、文化芸術へのアクセスが限られる市民にも鑑賞機会を提供することができた。

6 総合評価

評 価	コメント
B+ 適正であり、概ね優れている。	・工事でホールが使用できない期間があったにもかかわらず、工事日程を踏まえた的確な公演計画により、ホールの限られた稼働期間を最大限に活用し、規定以上の公演回数を実施した。 ・利用者の意見・要望を把握するだけでなく、設備故障に伴う事故発生を契機に安全点検を即時に実施し、点検の定例化にも取り組むなど、施設運営の改善に積極的な姿勢が見られた。